

どなたでもお気軽にご参加ください

市民公開講座

第1部



北海道大学大学院
医学研究科・医学部

機能再生医学講座
形成外科学分野

主任教授 山本 有平 氏

第2部



福島県立医科大学
形成外科学講座

教授 小山 明彦 氏

第3部

神戸大学大学院
医学研究科

形成外科学

教授 寺師 浩人 氏

第1部

『形成外科が治す病気やケガとは？』

形成外科を知っていますか？多くの方は形成外科の医師に対し、「傷をきれいに治すお医者さん」というイメージを持っていると思います。交通事故や手術などで顔や身体に傷跡が残ったときには、形成外科医がきれいに治します。やけどをした場合も、できるだけ跡が残らないように治すのが形成外科です。でもそれだけではありません。顔の骨の骨折、皮膚のあざやできもの、子供の生まれつきの変形、皮膚がんの治療、乳房再建、まぶたのタレや美容医療といった、いろいろな病気やケガを治しています。今回は、それを皆様にご紹介できるようにわかりやすく紹介します。

第2部

『生まれつきの顔や頭の変形とその治療』

口唇口蓋裂（いわゆる兔唇）、小耳症などの耳介の異常、先天性眼瞼下垂、頭蓋骨縫合早期癒合症など、生まれつき顔や頭に変形をもたらすさまざまな疾患があります。

私たち形成外科医は多くの優れた技術を駆使して、そのような子どもたちが明るく楽しい毎日を過ごし、将来社会に出て満足した生活がおくれるよう、治療に力を注いでいます。私達の取り組みをわかりやすく紹介いたします。

第3部

『皮膚癌って何？』

皮膚癌（ひふがん）は皮膚の悪性腫瘍のことを指します。残念ながら顔面に発症することが多く、生命予後はもちろん機能（見る、聞く、話す、食べるなど）に直接かわり、かつ整容的にも無視できない“できもの”と言えます。わたしたち形成外科は、皮膚癌に対してどのように対応しているのかご説明したいと思います。

日程

2019年 7月 24日 水 15:00 ~ 17:00

会場

青森新都市病院 3階講堂
駐車場は病院提携駐車場「D&Gパーキング」をご利用ください。

申込
先着 120名

参加費無料

青森新都市病院 TEL 017-757-8750（代表）

お申し込みの際は「市民公開講座の件で」とお伝えください。